



ご存知でしたか？大田市は県内最大の畜産地域です

大田市の畜産業

写真：吉浦牧場の搾乳牛舎

H 17 島根県畜産業産出額ベスト5

順位	市町名	産出額(億円)	割合
1	大田市	38.6	19.2%
2	雲南市	25.8	12.8%
3	出雲市	24.9	12.4%
4	益田市	21.6	10.7%
5	安来市	16.2	8.1%

(資料：島根県農林水産統計年報)

平成17年の大田市の畜産業の産出額は38億6千万円で、農業産出額全体61億7千万円の約63%を占めています。これは、米の産出額17億円(約28%)の約2.3倍であり、大田市農業の大きな柱となっています。

島根県全体の畜産業産出額201億円に占める割合は約19%で、畜産業での産出額は県内一です。

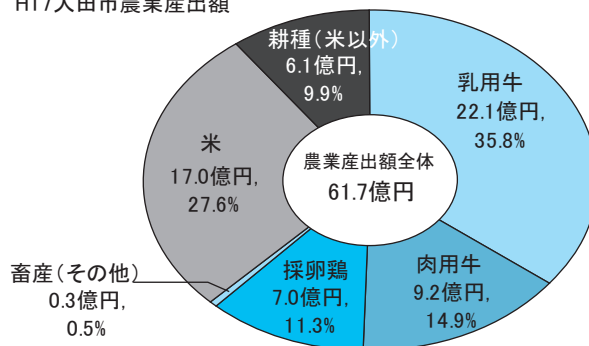
また、当市の地場産業として古くから栄えている窯業・土石製造業の出荷額が75億5千万円(平成17年工業統計調査より)であることと比較しても、畜産業は当市指折りの地場産業に成長したと言えます。

近年の畜産業は規模拡大に

今回は、頑張っている畜産農家の中から、農事組合法人吉浦牧場を紹介します。

よる経営安定を図る傾向にあり、当市も農業法人による大規模化が進んでいます。家畜ごとに、採卵鶏では波根町の(有)旭養鶏舎、肉用牛肥育では(有)島根農場、(有)大谷牧場が県内でも有数の規模を有しています。また、温泉津町の農事組合法人吉浦牧場、水上町の(有)大田原農場はメガファームと呼ばれる超大型酪農経営で中四国地方最大規模の酪農家です。

H17大田市農業産出額



(資料：島根県農林水産統計年報)

中四国地方最大級のメガファーム

農事組合法人 吉浦牧場 よしうらぼくじょう

農事組合法人吉浦牧場

住所 / 温泉津町福光ハ 1510 番地 1

電話 (0855)65-2821

就職情報サイト「リクナビ」に牧場スタッフのブログ掲載中！吉浦牧場のHPからご覧いただけます。

吉浦牧場ホームページ：

<http://www.pnc.or.jp/yoshiura/index.html>

大田市の西部に位置する温泉津町の江津市境の山あいにある「吉浦牧場」。

昭和45年の農事組合法人設立以来、規模拡大を進め現在では中四国地方最大級の酪農経営で、約800頭の乳牛から搾乳しています。

ここには、北は青森県から、南は沖縄まで、日本全国から酪農に魅せられた人々が集まっています。酪農の厳しさを解った上で、それでも酪農と本気で向き合うために・・・。

酪農に魅せられ吉浦牧場で働く I ターン者のお二人に、その素晴らしき日々を語っていただきました。

～ 牛に呼ばれた仲間たち ～



比嘉 義輝 さん(24歳)
沖縄県中頭郡出身
3年前に吉浦牧場に入社

比嘉さんは故郷・沖縄県の農業高校を卒業後、北海道の大学に進学。大学では、植物育種学を専攻し、実習授業で酪農家に住み込んで働いたことも。就職活動で希望の仕事を探すうちに、酪農実習のことを思い出しました。インターネットで見つけた吉浦牧場に惹きつけられ、持ち前の決断力と行動力ですぐに見学を訪れ、面接を受けて見事採用。初めての土地で、初めての仕事。「車を持っていないので…外出には苦労しました。無人駅も衝撃でしたね」と I ターン当時を振り返る比嘉さん。大阪から牧場へ I ターンした妻・佳奈子さんと昨年結婚。3月にはパパになる予定です。現在は、育成牛（搾乳用の雌牛）を担当、牛と向かい合う日々を送っています。

これからの目標

「自分がそうしてもらったように、後輩をサポートしてあげられたら。牛に聞けるのは、病気の発生率を下げるのが一番。それには、ストレスを感じさせないだけでなく、ストレスに強い牛の育成も課題ですね。」

鈴木さんは高校を卒業後、都内の大学の獣医学科に進学。7年間の大学時代には、北海道の牧場で4か月間にわたる実習兼アルバイトに挑戦しました。就職活動には、インターネットの就職情報サイト「リクナビ」を活用。数少ない牧場の求人の中、鈴木さんが目をつけたのが、吉浦牧場でした。最初の1～2年は、獣医としての仕事に加えて牧場の仕事を幅広く経験しました。しかし2年目途中に先輩獣医が退職。以後、1人で吉浦牧場の医療面を支えています。「専門的だと思われがちな薬の注射や種付けなども、後輩に指導することで、職場に経験者を増やしています」朗らかな人柄で後輩に慕われる鈴木さん。「多方面にアンテナを張り、情報収集・情報交換を行なうことが重要」と、感染症の流行や新薬の開発状況など、県や関係機関、周辺の同業者と連携して取り組んでいます。

これからの目標

「自分でも牧場をやってみたい、と思ったこともありました。でも、今はここがいいな、と思います。いろんな仕事を体験できるこの職場は本当に勉強になります。」



鈴木 利幸 さん(31歳)
東京都調布市出身
獣医として6年前に吉浦牧場に入社

知っつく!
納っつく!

和牛全共で優等賞獲得!

平成19年10月に鳥取県で開催された第9回全国和牛能力共進会（5年に1度開催される和牛の品評会）に、平成14年に岐阜県で開催された第8回大会から連続出品となった当市から、温泉津町福田の重富利博氏が出品した若雌牛が優等賞を獲得しました。地域一体となって取り組んだ結果で、当市の繁殖和牛のレベルの高さが証明されています。

重富さんご夫妻と「きみふく号」



大田市は和牛放牧先進地!

江戸時代から三瓶山で行われ一時期衰退していた放牧が、再び活発に行われ始めた平成8年頃、富山町では転作田に放牧する新しい取り組みが始まりました。

現在では、三瓶山入会放牧を含め、市内で約405haが実施され、全国的にも先進地となっています。中には、和牛のいなかった地域で牛を飼い、耕作放棄地などに放牧する和牛による下刈り（舌刈り）で、環境保全に取り組んでいる久利町の小山放牧の会、水上町の三久須放牧組合の事例もあります。